いわて復興だより

がんばろう! 岩手 つながろう! 岩手 第146号 平成31年2月号



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以 来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をい ただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」 を大切にしていきたいと思います。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

「岩手の未来を切り拓く 復興道路シンポジウム」開催

釜石市 KAMAISHI

1月19日(土)、「岩手の未来を 切り拓く 復興道路シンポジウム〜沿 岸と内陸を結ぶ釜石道全線開通へ~」 (主催:岩手県・釜石市)を、釜石市 民ホール TETTO で開催しました。

復興支援道路として位置付けられ た"東北横断自動車道釜石秋田線" 釜石~花巻(延長約80km)は、本 県沿岸と内陸を結ぶ初の高速道路で、 本年3月9日の全線開通が予定され ており、本シンポジウムは、復興道路

等のストック効果や今後への期待を 発信することを目的としたものです。

当日は、発災時、国土交通省東北 地方整備局長として被災者救援や復 興道路の整備などに多大な尽力をい ただいた、政策研究大学院大学 徳山 日出男客員教授(元国土交通事務次 官)が基調講演を行いました。講演 では、「本物の復興を成し遂げるため に」と題して、「復興道路・復興支援 道路はかつてないスピードで整備が

進められているが、これからは道路 を活かす方策が重要。物流、観光と 並んで、災害の伝承も東北の使命」 との話がありました。

その後、「つながる復興道路、こ れからの釜石・岩手」をテーマとし たパネルディスカッションでは、釜 石で活躍するパネリスト4名が登壇。 釜石道がもたらす地域活性化への期 待と、これからの地域の課題につい て意見が交わされました。







基調講演を行う徳山客員教授



パネルディスカッションの様子

三陸沿岸道路「釜石山田道路」大槌 IC~山田南 IC が開通

大槌町・山田町 OTSUCHI YAMADA

1月12日(土)、国土交通省が整備 を進める三陸沿岸道路「釜石山田道路」 大槌 IC~山田南 IC(延長 8km)が開 通し、供用が開始されました。

「釜石山田道路」は、釜石市甲子町の 釜石 JCT から山田町船越の山田南 IC を結ぶ延長 23km の自動車専用道路。

今回開通した区間は、津波浸水区域 を回避して整備されており、これによ り大規模災害時でも寸断されない強靭 で信頼性の高い道路ネットワークが形 成されます。

また、救急搬送時間が短縮されるほ か、流通の利便性の向上により、沿岸 の基幹産業である水産業や観光面での 地域活性化が期待されます。

今回の開通で、宮古中央 IC~大槌 IC 延長約 35km が結ばれ、大槌 IC~ 釜石北 IC は、2019 年度開通を予定 しています。



供用が開始された「大槌 IC~山田南 IC」



いたって復興応援メルマガ会員大募集日 知って、買って、食べて、行って 応援!



首都圏にお住まいの方を対象に、メールマガジン会員(いわて復興応援団員)を募集しています。登録 していただいた方には岩手県の復興の取組や観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団



登録無料

東日本大震災津波で校舎が全壊した陸前高田市立気仙 小学校(児童55人)の新校舎が再建され、1月18日 (金)に落成式が行われ、新校舎での3学期が始まりま した。

旧校舎は、最上階の3階まで津波が押し寄せ全壊。震災後は、市内の長部小学校の校舎を借り、2校合同で授業が行われましたが、平成25年4月に両校が"気仙小学校"として統合されました。

同市気仙町今泉地区の高台に整備された新校舎は、気 仙杉などの木材がふんだんに使用され、2階建ての普通 教室棟のほか、特別教室棟、体育館、プール、ホールな どで構成。同ホールは、伝統芸能の練習や披露する場所 として地域に開放されるなど多目的に使用されます。

落成式では、児童会長の鈴木愛弓さんが「たくさんの 人たちの心がこもった校舎を大切に使っていきたい」と 発表。児童たちが、感謝を込めて合唱を披露しました。

県内の沿岸市町村では、86の公立学校が震災で被災し、再建や修復を進めてきましたが、これにより、被災した全ての公立学校の校舎が再建されました。



再建された「気仙小学校」(写真提供:陸前高田市)

釜石港の平成30年のコンテナ取扱量が、7,608TEU (20フィートコンテナ1個が1TEU)となり、前年実績(3,724TEU)の約2倍になりました。

古くから鉄鋼関連貨物の取扱いを中心に発展してきた 釜石港は、東日本大震災津波で、湾口防波堤や岸壁など に大きな被害を受けました。

平成 29 年には大阪府から無償で譲り受けた大型クレーン(ガントリークレーン)の整備により港湾機能が拡充されたほか、岩手県では震災後初となる中国、韓国との外貿定期コンテナ航路の開設などにより、コンテナ取扱量が増加しています。

平成30年には湾口防波堤の復旧も完了。釜石市は、企業の利用は今後も増えると見込んでおり、2019年の目標を16,000TEUに設定しています。

三陸沿岸道路や内陸と沿岸を結ぶ復興道路等の完成を控え、物流拠点としてますますの発展が期待されます。



湾港機能を向上させた「ガントリークレーン」(写真提供:釜石市)



釜石港コンテナターミナル

未来へのメッセージ

message

釜石市

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた岩手県沿岸。復興が進む中、沿岸地域には、 災害に関する多くの教訓が残されています。

将来予想される大震災。突然襲いかかる様々な災害。そんな災害に備えるために、 岩手県沿岸地域から、未来のための教訓をお届けします。

釜石観光ガイド会 会長

三浦 達夫さん (みうら たつお)



経験を引き継ぐ防災教育を

釜石市では、震災前から専門家を招い て実践的な防災教育が行われてきました。

東日本大震災津波の発災時には、鵜住居地区の釜石東中学校の生徒は自主的に避難行動を起こしただけでなく、避難所の清掃や、避難者の名簿を作成し張り出すなど、「助けられる側ではなく、助ける側にもある」との意識を持って、防災教育から学んだことを実践しました。

震災から8年が経ち、震災を知らない

子どもたちもいます。経験を伝えるだけ でなく、防災の意識を引き継ぐためにも 防災教育を浸透させることが重要です。



震災からの防災学習コースでの高台から見た「釜石港」

釜石観光ガイド会 information

震災からの教訓・防災学習を目的としたガイドのほか、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「橋野鉄鉱山」や 関連施設、史跡関係などのガイドを行っています。

■案内コース

- ・震災からの防災学習コース
- ・鉄のふるさと探訪コース
- ・世界文化遺産「橋野鉄鉱山」コース
- ■活動時間:9:00~17:00 (通年)
- ■休日:お盆期間、年末年始
- ■料金:¥3,000/3時間コース
- ・ガイド 1 名で 40 名 (観光バス 1 台) までご案内
- ・所要時間はコースによって異なります。
- ・要望によりコース設定可能。
- ■予約方法:原則として8日前までに要予約
- ・TEL、FAX、メールで受付。
- *FAX、メールでの予約は、ホームページの申込書フォームをご利用ください。

■問い合わせ・申し込み■ 釜石観光総合案内所

TEL:0193-22-5835 (受付9:00~18:00) FAX:0193-31-1166

メール:kamaishi-kankou@bz04.plala.or.jp ホームページ:http://www.kamaishi-kankou.sakura.ne.jp

大槌高校復興研究会 「ぼうさい甲子園」優秀賞受賞

学校や地域での防災教育や防災活動に取り組む子ども や学生を顕彰する『平成30年度1.17防災未来賞「ぼ

うさい甲子園」』(主催:兵庫県、毎日新聞社など)の高

校生部門で、大槌高校の復興研究会が優秀賞に選ばれま

同研究会は、平成25年4月に発足し、生徒の8割が

所属。復興の記録を残すために大槌町内約 180 地点を

定期的に撮影する"定点観測班"や復興まちづくりの提

言を行う"防災・町づくり班"など5つのグループに分

かれ、地域と連携しながら様々な活動を展開しています。

表彰式には、同研究会の1、2年生7人が参加。2年生

の菅野雅也さんと上山華歩さんが、同研究会の活動を発

式典の参加と併せ、生徒らは、ボランティアで大槌町 を訪れている大阪府立桜塚高校や豊中市社会福祉協議会 をはじめ、定点観測で協力をいただいている神戸大学を 訪問し交流を深めたほか、神戸市内を見学し、阪神・淡 路大震災と震災からの復興を学びました。 (写真提供:大槌高校)

1月13日(日)、兵庫県公館(神戸市)で開催された

大槌町 **OTSUCHI**



陸防災復興プロジェクト 2019

2019.6.1 SAT-8.7 WED

岩手県の三陸沿岸地域で開催!

岩手県を代表するトップアスリートの皆さんから 応援メッセージが寄せられています!

岩手県 **IWATE**

三陸防災復興プロジェクト 2019 会期中に開催される、 22 の事業の1つである『さんりく絆スポーツフェスタ』 では、「スポーツの力による復興」をテーマとしたブース を設置し、国内外のトップチーム等による復興支援活動 の写真パネル展示や、県ゆかりのトップアスリートの皆 さんからの応援メッセージを掲出します。

プロジェクトの開催趣旨に替同してくださったトップ アスリートの皆さんから力強い応援メッセージをいただ きましたのでその一部をご紹介します。



ロサンゼルス・エンゼルス 大谷翔平選手



菊池雄星選手



広島東洋カーブ 高橋樹也選手



東北楽天ゴールデンイーグルス 千葉耕太選手



表彰式に参加した生徒



(未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会

活動を発表する生徒



さんりくイベント情報



EVENT

12/15

3/31

した。

表しました。

北三陸ご当地 鍋街道祭り

洋野町・久慈市 野田村・普代村 HIRONO KUJI NODA FUDAI

場所▶洋野町・久慈市・野田村 普代村の参加店舗

洋野町・久慈市・野田村・普代村の16店 舗で、こだわりの鍋料理が楽しめるイベン

トです。海の幸が満載の「海賊鍋」や北三陸特産のウニ を使った「北三陸うに鍋」など、様々な食材を使用した 各店舗オリジナルの鍋を堪能できます。

問い合わせ 久慈広域観光協議会

☎ 0194-53-5756

参加店舗の詳細 http://kuji-tourism.jp/

3/3

第17回

宮古毛ガニまつり

宮古市 MIYAKO

場所▶宮古市魚市場特設会場

宮古の冬の味覚の代表格である「毛ガニ」の販売や毛 ガニの一本釣り、体験セリ市などのイベントのほか、 先着300食限定(無料)で毛ガニ汁のお振舞いなどが 行われます。

JR 宮古駅から会場間の無料シャトルバス、浄土ヶ浜か ら会場間の無料シャトル遊覧船を利用できます。

一般社団法人 宮古観光文化交流協会

☎ 0193-62-3534

3/18

まちなか・ ありがとう市

久慈市

場所▶久慈市中心市街地

毎月18日に開催される「まちなか・ありがとう市」 では、久慈市中心市街地の約70店舗が、各店趣向を 凝らしたお買い得セールを実施します。

奇数月に開催される抽選会では、参加店でお買い物を すると進呈される抽選券で、久慈市の特産品やお店の 逸品が当たります。

問い合わせ

久慈商工会議所 ☎ 0194-52-1000

リアス線記念列車乗車公募のお知らせ

三陸鉄道株式会社 旅客営業部 ☎ 0193-62-8900

三陸鉄道の「リアス線」、盛駅(大船渡市)から久慈駅間約 163km が誕生。これにともない、記念列車乗車の公募が行われます。

■運行日:3月23日(土)

■応募要領: どなたでも応募可

(※小学生以下は保護者の同伴が必要)

■応募方法:通常はがきのみ

(※ 1 通につき 4 名までご応募可)

■応募はがきへの記載事項

住所 (郵便番号含む)・名前・年齢 電話番号・希望コース名・乗車希望人数

※乗車希望の全ての方のお名前と年齢をご記入ください

■応募締切:2月28日(木)必着

■応募先:

〒027-0076 岩手県宮古市栄町 4番地 三陸鉄道株式会社 旅客営業部

表: 当選者の方のみに郵送で3月5日を目途に発送します

A コース <募集人員 40 名> 釜石駅 11:40→宮古駅 13:22

宮古駅 15:25→釜石駅 16:57 C コース <募集人員80名>

宮古駅 12:00→釜石駅 13:30 釜石駅 15:18→宮古駅 16:49 釜石駅 14:30→宮古駅 15:59 宮古駅 17:25→釜石駅 18:51 D コース <募集人員80名>

B コース <募集人員 80 名>

宮古駅 14:15→釜石駅 15:47 釜石駅 16:28→宮古駅 17:56

※ 各コースとも、折り返し運転となり、釜石駅、宮古駅のみ乗り降りが可能。 その他の駅での乗り降りはできません。また、片道のみのご乗車はできません ~三陸鉄道の一貫運行開始を記念した歓迎イベント~

■ 三陸鉄道開通イベント(仮)(大槌町)■

日時:3/23(土)~3/24(日)

場所:大槌駅前

問い合わせ:大槌町総合政策課 ☎0193-42-8724

■ みやこ夢レールフェスタ (宮古市) ■

日時:3/24(日)

場所:宮古駅前広場

問い合わせ:みやこ夢レール創造事業実行委員会 事務局(宮古市観光課内) ☎0193-62-2111

■ 三陸鉄道開通イベント(仮)(釜石市)■

場所:釜石駅前、鵜住居(うのすまい)駅前 問い合わせ:釜石市生活安全課 ☎0193-27-8451



宮古の恵みを味わえるご当地丼「瓶ドン」

宮古市 **MIYAKO**

牛乳瓶に詰まった"宮古の旬の食材"を、自分でほかほかご飯にまるごとかけて食べる体験型のご当地丼は、 宮古の新しい名物。現在、市内の5つの店舗でお召し上がりいただけます。





(写真提供: ・ 魚彩亭 すみよし」 宮古観光文化交流協

■魚彩亭 すみよし <瓶ドン RED HOT> 1,500円

- ■食材:焼きウニ、イクラ、メカブ、タラ、ホタテ、タコ
- ■宮古市栄町 2-10 ☎ 0193-62-3244
- ■レストラン 汐菜 <瓶ドン たらざんまい> 1,500円
- ■食材: タラ、水菜、辛子明太子 ※1日 10食限定
- ■宮古市臨港通 1-20 ☎ 0193-71-3100

■割烹 おかめ <瓶ドン みやこ> 1,296円

- ■食材:ホタテ、タコ、マグロ、カンパチ、龍泉洞たまご
- ■宮古市末広町 1-18 ☎ 0193-62-2456

■浄土ヶ浜レストハウス <鱈のぶっかけ瓶ドン> 1,250円

- ■食材:タラ、イクラ、メカブ、ガゴメ昆布
- ■宮古市日立浜 32 ☎ 0193-62-1179

<瓶ドン 花瑠瑠 (ホノルル) > 1,300円

- ■食材:アボカド、オクラ、長芋、トマト、沢庵、納豆
- <瓶ドン 白雪(しらゆき)> 1,300円
- ■食材:タラ、イクラ、メカブ、長芋
- ■宮古市築地 1-1-38 ☎ 0193-62-1319

季節によって、食材の内容が変わる場合があります

詳しくは 宮古観光文化交流協会

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復 興に向け、熱い想いを秘め、活躍する方々を紹介してい きます。「未来のさんりくびと」に続き、第91回目は、 平野 彩華さんを紹介します。

山田町出身。

山田町の小・中学校に通い、宮古市の高校を卒業後、 盛岡市に就職した後、2017年、もっと山田町を知 ってもらうような仕事がしたいと思い、Uターン。 現在、一般社団法人 山田町観光協会に勤務し、かき 小屋や海水浴場での手伝いをはじめ、町内外のイベ ントなどで山田町の魅力を発信している。

地域の特徴を強みに

就職先で同僚から「山田町には何があるの?」 「場所がよく分からない」などの話を聞くことが あり、生まれ育った町を PR したいと感じた平 野さんは、地元に戻り、観光協会でその思いを 仕事に牛かしています。

「自分も観光協会で働いてみて、地元の魅力に 気づいたことも多くあります。山田町には、1



一般社団法人 山田町観光協会 平野 彩華 (ひらの あやか) さん



1年中 楽しい町です!!!!

年を通して、季節に合わせた楽しみ方がありま す。"かき小屋"は人気ですし、プライベートビ ーチのような雰囲気のある"荒神(あらがみ) 海水浴場"はインスタ映えすると、多くの人が 訪れます。海のものを食べに山田に行こう、海 水浴なら山田、と思ってもらえるように、今あ る山田町の特徴が強みになればいいと思います」 と平野さんは話します。

山田町が"観光の目的地"となるように

「復興が進むにつれ便利になってきていると 思います。津波災害から住民を守るために防潮 堤が必要な反面、海が見えなくなっていくのは 寂しいですね」と平野さんは、変わっていく地 元の風景に思いを寄せます。

これからの山田町について「三陸沿岸道路の 開通で山田を通り過ぎてしまうのではないかと いう不安の声も聞きます。山田が通過点になら ず、"観光の目的地"となるためにも、この町の 魅力を県内外に PR していきたいと思います」 と笑顔で話す平野さんの活躍が期待されます。

岩手県の被害状況

平成31年1月31日現在

皆さんのご支援、ありがとうございます 平成31年1月31日現在

- ▶人的被害 死者(直接死):4,673人 行方不明者:1,114人 死者 (関連死): 467 人
- ▶建物被害(住家のみ、全半壊) 26,079 棟

被害状況等の詳細 義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル検索

- ▶義援金受付状況 約 186 億 6,665 万円 (96,415 件)
- ▶寄付金受付状況 約 199 億 6,382 万円 (8,853 件)
- ▶いわての学び希望基金(※)受付状況 約96億1,457万円(22,810件) ※ 被災したこどもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ~希望~ 20 万点を超える資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ



いわて復興だよりWeb

一部ニュース、いわてさんりくびとを 動画で紹介。

ビジュアル豊富な Web もご覧下さい。





いわて復興だより 第 146 号 平成 31 年 2 月 20 日号 企画・発行:岩手県復興局復興推進課 🗖 019-629-6945

編集・印刷:シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は平成31年3月25日号の発行を予定しています。